

## 006 うさお

さて、前号で由佳さんより不空羅索観音菩薩に例えられちゃ

た私。ふふふ、困るなあ。

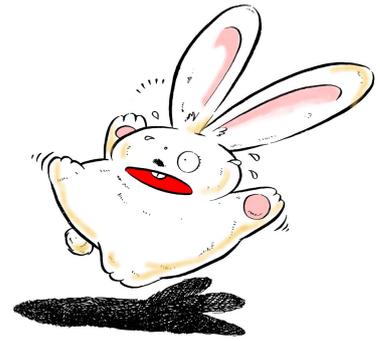
人徳があふれちゃうから、遭ったことも無くて判っちゃうのかなあ。以前、親父が持っていた「仏様の戸籍調べ」だっかの本があれば、すぐこの観音様のことが判るんだけど、この本は今、日出彦さんのところにある筈だし……。もしかして悪口かもしれないから、少し調べてみようかな？

元々の名前はアモーガパーシャ？。不空羅索の羅索は、インドで獵で使う投げ縄のことらしい。つまり銭形平次のように頭脳聡明と言うことか？

観音の慈悲によって人々を逃すことなく救い、不空とは、それが空しからず、叶うことを意味するとか。他人はあんまり助けたくは無いな。自分だけで精一杯だよ。

孔雀の化身だとも聴いたことがあるぞ。うさおが美しく華麗だと言うことか？

この観音菩薩は奈良時代に隆盛を極めたが、今では天台宗で六観音に加えられているのを除けば、他の観音様ほど人気が無いそう。あれ、もう過去の人と言うことか。少し寂しい。CM に出てくる「石橋蓮治」のようだなあ。



作品名	作家名	感想	評価
蛇鏡	坂東真砂子	玲は婚約者を伴って帰郷した。結婚を目前に姉が自殺した蔵で、珍しい蛇の浮き彫りのある鏡を見つけた。その鏡を持つ女は、古くから故郷に伝わる蛇神のとりこになるのだった。	☆☆ やっぱりこの作者は読みにくい、苦手です。
土竜	出久根達郎	土竜はもぐら、寄場で土堀りの仕事をして、幕府の企みに気がつく、実際にもぐらも登場する。時代小説としては、ちよいと重厚さに欠けるが、トリックだけが先行した話だ。	☆☆☆ そこそこ面白いんだけど、文章がね。悪いんだよね。
孤独な歌声	天童荒太	連続殺人事件が起こる。被害者はみな女性。何日も手足をしばられ監禁され傷つけられ、いわば「飼われて」から殺害されている。この猟奇的な殺人犯を追う女刑事と、事件に関わりを持ったしまった「孤独な歌声」を持つミュージシャン。	☆☆☆☆☆ 似たようシチュエーションの音無警部補のものがある。どちらも好きだぞ。
神奈川縣札	柘植久慶	明治元年に長州藩の密命をうけた山根桑一郎が、資金一万六千両とともに行方を断った。大金の行方を探索に徳光と鉄屋は、横浜へとむかう。土方歳三が神奈川県札に換金したという情報だが…。	☆☆ 所詮、時代物の文章は苦手なんだね。この人は。
面一本	出久根達郎	稲田の小さな古本屋に剣道の達人・若苗が嫁いできた。三世代同居も苦にせず、人情溢れる家族に支えられて、若女将として古書の世界の奥深さにハマっていく。	☆☆☆ 時代劇かと思いましたが、現代劇でした。
記憶	米山公啓	記憶を研究する医師高尾はアルツハイマー病の浮島の記憶を蘇らせる。記憶を取り戻す経過において過去の事件に巻き込まれていく。記憶を取り戻すことは忘れたい過去を掘り出して患者を苦しめることとなる。記憶の不思議さ、厄介さに巻き込まれていきました。	☆☆ 図書館の本なのに、また出張中に無くしちゃったよ！

江戸闇からくり	羽太雄平	天明の鐘◆伊勢の片焼き◆駆け落ち脅し◆放ち鳥奇談◆話売り伝吉◆黒御簾かせぎ◆嘘は売り切れちよいと凝った江戸絵草子物。	☆☆ 最近こんなのがばかりだなあ。
鬼哭	乃南アサ	『殺意』で、わけもわからぬまま真垣に刺された的場直弘。おびただしい鮮血にまみれた的場を、静かに見下ろす真垣。刺されてから死に至るまでのわずか三分間に、的場は何を思うのか？	☆☆ これ、連作でした。たまたま目の作品を読んでいたからいいものの・・・ねえ。
ラスト・イニング	吉田直樹	横浜パイレーツの監督・高橋のもとに突然送られてきたFAX。単なる野球賭博事件からとんでもない事件に。廃人同様の日々から立ち直るべく、古巣の球団を調査し始めた彼の前に・・・。	☆☆☆ 快刀乱麻でないのが、じりじりします。
ツインズ	吉田直樹	隣りの家のおじさんが実の父親？そんなバカな！。隆と浩一は同い年。赤ん坊の取り違え事件を起こした病院を訴えることなく、親同士が納得の上で育てたのが隆と浩一。	☆☆☆ って、ちょっと変わったミステリイやね。
左手に告げるなかれ	渡辺容子	「右手を見せてくれ」と、スーパーで万引犯を捕獲する女性保安士、八木薔子に3年前に別れた不倫相手の妻が殺害され、彼女にかかった殺人容疑。彼女の腕にある傷跡は何を意味するのか。	☆☆☆ 謀図か？おモノかと思っちゃいましたよ。
魔神	和田はつ子	人間の焼け焦げた骨と肉の塊が、英陽女子大助教授の日下部遼のマンションに投げ込まれた。日下部と女性刑事水野薫のコンビがおぞましき殺人事件の真相に挑む、	☆☆☆ すいません、キャッチは良かったんですけど、読みませんでした。
横浜再現	奥村泰宏／常盤とよ子	敗戦後の横浜の写真集、進駐軍と廃墟、風俗の写真集。野毛を中心にしたノスタルジックなもの。この写真集は、横浜の歴史などに良く使われます。	☆☆☆☆ 貴重な1品です。
ペリー来航～横浜元町	横浜元町資料館	山手の歴史を語るに元町の歴史は欠かせない、これは明治の時代の多くの遺跡を記載してある。今でも残っている遺跡の数々。	☆☆☆☆ じいさんが住んでいた場所でも有り、感慨深い。
占領の傷跡	服部一馬／齊藤秀夫	これは大変、学際的に書かれたもので、史学的にも価値が高いとされている。絶版。	☆☆☆☆ 小学生の頃にあった米軍のベースキャンプの記憶が少し残っているよ。
紫の悪魔	響堂新	植物生理学を専門とする大学助教授五十嵐は、教え子の不審な死の事件に巻き込まれる。彼女は自分の体を骨が見えるまで切り裂くという行為を繰り返していた。それが新種の病気のせいであることに気付いた五十嵐は・・・。	☆☆☆ って本当かい？紫蝙蝠や何かの話って、まことしやかだが。
あなたとワルツを踊りたい	栗本薫	ある男性アイドルと、彼に憧れるファンの女性。そしてその女性に執拗につきまとうストーカー。サイコホラーと銘打たれているが少し弱い感じがするけど、コワイよ。	☆☆☆ この人だったらもっと怖くするのも可能なのに、残念です。
玩具修理者	小林泰三	骨董おもちゃ屋で働く彼の前に、サングラスをかけた若い女性が現れる。彼女はおもちゃにまつわる自分の不思議な思い出を静かに語り始めた。子供たちだけが知っていた、玩具修理者「ようぐそうとほうとふ」の話。	☆☆☆ 小林久三かと思って借りたら別人でした。